

# 平成20年度（2008年度）事業報告書

財団法人 高度映像情報センター  
(AVCC)

自 平成20年4月 1日  
至 平成21年3月31日

## はじめに

平成 20 年度事業計画書において私たちは、  
-「いい人材を早く囲い込みたい」一心の各企業の節度ない求人活動と「自分さえ良ければいい」という考えが蔓延することに警鐘をならし、また、  
-オイル高騰、円高、株安といった「負の連鎖」により日本経済に暗雲が立ち込め、手の平を返したように若者の求人に大ブレーキが掛かからないかを、懸念しました。

残念ながら不安は的中してしまい、北京オリンピックを境に世界経済は一天にわかにかき曇り、未曾有の世界同時不況に突入、節度無い経営者は人材の使い捨てに走り、各企業は採用の間口をギュッと締め、若者の”就活”は一挙に厳しいものとなりました。

翻弄される”ビジネスパーソン”や”若者”を見るにつけ、経営者一人一人が働く人を大切にし、長い目で社会全体の事を考える事が求められている。と痛感する一年でありました。

2008 年春オープンした霞が関ナレッジスクエアは、「霞が関の”公民館”」として、”ビジネスパーソン”の学びの支援、若者の”しごと力向上”の支援、「産」「学」「官」連携による大学教育改革等、様々な社会教育や人材育成事業に取り組んできました。主な取り組みをご紹介します。

### I 霞が関ゼミナール

霞が関ナレッジスクエアの自主プログラムは『霞が関ゼミナール』と銘打ち、全国の大学関係者と共に大学教育改革を考える[イノベーションプログラム]を五回、霞が関周辺に働く人の学びと交流を支援する[ビジネスパーソン・コミュニティプログラム]を七回、様々な分野で活躍する若き”エキスパート”の働く喜び・感動を発信する[エキスパート・スタジオ]を一回、タイムリーなテーマを取り上げた[特別企画]を五回、合計十八回開催しました。

特に、[エキスパート・スタジオ] (11月6日開催)では、清里のイタリアン・オーナーシェフをゲストに招聘。このとき参加した”就活”中の大学生、専門学校生の多くは、就職先企業や職業分野について、すでに調理人以外に自分の道をほぼ決めていた参加者が多かったにもかかわらず、ゲストがオーナーシェフに至るキャリア形成の話は、たいへん刺激的な内容だったため、各参加者のこれからの職業人、ビジネスパーソンとしての歩みや将来ビジョンに有益な体験の場をもたらしました。

[特別企画]で取り上げた「グローバル育成・採用プログラム～グローバル時代を見据えた人財採用戦略とは～」(10月17日開催)では、米国に留学中の日本人大学生約100名を対象に、霞が関ナレッジスクエアからライブ配信を行い、わが国を代表する企業二社によるグローバル採用のプレゼンテーション、これからの企業が目指すべき人財育成戦略についてのパネルディスカッション等を実施しました。留学生にとっては国内学生に比べて不利な”就活”を補完する場となり、企業からは低コストで確実に留学生へのアプローチが図られる。という好結果が得られました。次年度より普及が見込まれます。

### II ナレッジスクエアライブラリー

霞が関ナレッジスクエアの WEB サイトにはネット上の図書館が有り、「学びたい!・・・だけど時間が・・・お金が・・・」というビジネスパーソンが、いつでもどこでも無料で学べる環境を提供しています。[しごと力向上ライブラリー]は、学校では教えていない、でも社会に出たら欠かせないスキル・マナー・コンピテンシー等約140本のコンテンツを無料で学習でき、毎月1本新作をリリースしてきました。

'09年2月アップした「グローバルな世界をどう生き抜くか」は、大学生からビジネスパーソンを対象に感心と呼び、テスト問題を付加し大学でのオンデマンド教材としての活用も検討されています。

霞が関ナレッジスクエア開設記念事業として制作された「江戸 TOKYO 散歩」は、江戸時代の浮世絵師広重の晩年の作品「名所江戸百景」から12作品をピックアップ。現代の東京の風景とオーバーラップさせたハイビジョン映像作品。霞が関ナレッジスクエアのサイトでも公開しました。また、英語版、中国語、韓国語バージョンも近々リリースされます。

ナレッジスクエアライブラリーは、霞が関ナレッジスクエアのWEBサイトにWEB会員登録することにより、無料で学ぶことが出来ます。またアカデミックメンバー・協賛メンバーのイントラネットからID/PW無しで何時でも学べるサービスも開始しました。

### Ⅲ霞が関ナレッジスクエア Eラーニング「しごと力向上講座 2009年度版」の開発普及

これから就業しようとする人、またはビジネスパーソンを対象に、仕事に必要なビジネスマナーやビジネススキルを学べるEラーニングサービスをアカデミックメンバー・協賛メンバー向けに提供を開始。「しごと力向上講座」で公開している教材から5講座、およびオリジナルで開発した個人情報保護に関する教材2講座、計27単元をパッケージ化しました。大学でのキャリア教育、内定者事前教育、企業内教育での活用が期待されます。

### Ⅳ公共ホームページ goodsite 運動

毎月、テーマを決めて5サイトを選んで紹介する[公共ホームページ goodsite 運動]では、20年度2回にわたり、若者が仕事や就職を考えるに当たり大切にしてほしい視点として、坂本光司氏(法政大学大学院教授)の著作「日本でいちばん大切にしたい会社」(あさ出版)を題材に、経営者、従業員とも仕事や働くことに誇りをもち、地域社会等に貢献し、高く評価されている会社を取り上げ、坂本光司研究室公式ブログからもこの取り組みが紹介されました。

### Ⅴ双方向ライブ配信サービスの研究開発

霞が関ナレッジスクエアで提供する、スタジオから同時100台のPCへのライブ配信サービスを、双方向ライブ配信サービスとしてバージョンアップしました。ライブ配信を受信しているPCもしくは受講者の携帯電話を活用し、アンケート・テストをリアルタイムに実施できる。講義中のRA(レスポンスアナライザ)機能と任意に質問する機能、セミナー終了時のアンケート集計並びにリアルタイム集計機能を持ちます。

## 調査研究事業

### (1) 携帯電話RAシステムの運用に関する研究

受講者の出席チェックのほか、講義進行に応じて行う質問の提示とその回答集計を行い、これらの傾向に踏まえた講義運営を行う目的で、携帯電話 RA システム(ケイタイ・レスポンスアナライザ (Can-P)の研究を継続して行っています。20 年度においても早稲田大学、東京工科大学での永岡慶三氏(早稲田大学人間科学学術院教授)の授業他、早稲田高等学院での活用等、以下のように携帯電話 RA システムを活用した講義を実施しました。

期間:平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月

利用機関①早稲田大学

利用人数:前期 遠隔教育論 約 90 名

後期 教育メディア科学 約 90 名

利用回数:週 1 回

利用機関②東京工科大学

利用人数:前期 教育メディア論 約 230 名

後期 なし

利用回数:週 1 回

利用機関③早稲田高等学院

利用人数:10 名

利用回数:2 回

また、平成 20 年 11 月 14 日実施されたスペース・コラボレーション・システム(SCS)利用遠隔共同授業・大学間遠隔共同講義「情報教育・メディア研究」における永岡慶三教授の講義「近未来テクノロジーを基盤とする次世代教育の再構築」では、衛星通信により遠隔地で受講する受講者に対し、携帯電話 RA システムによる学習者登録を実施し、将来的に講師からの質問の提示や回答の集計等の活用を想定した講義が行われました。

### (2) 地域情報化の促進を担う人材育成研修に対するニーズ調査の実施

昨年度に引き続き慶應義塾大学DMC機構が文部科学省から受託している「社会人学び直しニーズ対応教育推進事業」における調査業務の支援を実施しました。報告書にはアンケート調査における分析結果から、本事業で行われる教育プログラムの課題や今後の方向性を検討し、次年度の教育プログラムの方向性を示しました。

## 普及啓発事業

### (1) 霞が関ナレッジスクエア事業

#### I. 組織運営活動

##### 1) 霞が関ナレッジスクエア運営委員会の設置および運営

産学連携分野の有識者参画による運営委員会を設置し、定期的に霞が関ナレッジスクエアの運営状況について報告しました。

委員:渡部 俊也氏(東京大学 先端科学技術研究センター教授/技術経営戦略学専攻)

福田 猛氏(有限責任中間法人 大学技術移転協議会 事務局長)

笹月 俊郎氏(独立行政法人 科学技術振興機構 産学連携事業本部  
技術移転促進部 シーズ展開課 課長)  
霞が関第 7 号館 PFI 株式会社(新日鉄エンジニアリング株式会社、大成建設株式会社、  
東京建物株式会社、株式会社久米設計)  
久保田 了司(財団法人高度映像情報センター 霞が関ナレッジスクエア担当理事)  
伊藤 健二 (慶應義塾大学 DMC 統合研究機構 准教授  
霞が関ナレッジスクエア産学連携担当主席研究員)

オブザーバー:文部科学省大臣官房会計課 施設管理班

事務局:(財)高度映像情報センター 霞が関ナレッジスクエア運用事務局

実施日: 第 1 回運営委員会:2008 年 5 月 21 日 9:30~12:00

第 2 回運営委員会:2008 年 8 月 27 日 9:30~12:00

第 3 回運営委員会:2008 年 12 月 10 日 9:30~12:00

第 4 回運営委員会:2009 年 3 月 10 日 9:30~12:00

## 2) 霞が関ナレッジスクエア プログラム開発委員会の設置および運営

新規プログラムの企画・開発について専門家等の有識者によるプログラム開発委員会を設置し、毎月検討会を行いました。

委員:内田晶夫(株式会社 ANA 総合研究所取締役

伊庭野 基明氏(グローバルキャリアカウンセラー ビジネスコーチ

久保田 了司(財団法人高度映像情報センター霞が関ナレッジスクエア担当理事)

伊藤 健二(慶應義塾大学 DMC 統合研究機構准教授

霞が関ナレッジスクエア産学連携担当主席研究員)

華井 弘子(エキスパート倶楽部ゼネラルマネージャー)

その他、テーマに応じて随時参加

事務局:財団法人高度映像情報センター 霞が関ナレッジスクエア運用担当

開催日 準備会 4 月 21 日 9:30~11:30

第 1 回 5 月 20 日 9:30~11:30

第 2 回 6 月 20 日 9:30~11:30

第 3 回 7 月 25 日 9:30~11:30

第 4 回 8 月 29 日 9:30~11:30

第 5 回 9 月 24 日 9:30~11:30

第 6 回 10 月 29 日 9:30~11:30

第 7 回 11 月 19 日 9:30~11:30

第 8 回 12 月 15 日 9:30~11:30

第 9 回 1 月 19 日 9:30~11:30

第 10 回 2 月 25 日 9:30~11:30

第 11 回 3 月 25 日 9:30~11:30

## 3) 霞が関ナレッジスクエア会員制度の運営

### ①会員の確保

霞が関ナレッジスクエアは産学官連携・交流のプラットフォーム、ICTを活用した教育の場、知の蓄積と発信の場として会員制度による利用者を募り、会員に対するサービス提供を基本とした運営を行った。会員の種類は、霞が関ナレッジスクエア事業に賛同する事業協賛会員、法人会員、アカデミック会員、個人会員、Web 会員を設けている。平成20 年度の会員数は、以下の通り

- ・協賛会員：1口 120,000円/年 39 機関(企業・業界団体等)
- ・法人会員：120,000円/年 9機関(企業・団体等)
- ・アカデミック会員：60,000円/年 8機関(大学等教育機関)
- ・個人会員：12,000円/年 44人
- ・Web 会員：無料(登録制) 2,400人

## ②有料会員へのサービス提供

- ア. 霞が関ナレッジスクエアのスタジオ等の施設利用について会員料金にて提供
- イ. 霞が関ナレッジスクエアの常設パソコン等の設備について無料で提供
- ウ. 霞が関ナレッジスクエアで開催する自主プログラムの会場参加について会員割引
- エ. 霞が関ナレッジスクエアからライブ配信する自主プログラムのインターネット参加サービス
- オ. 霞が関ナレッジスクエアWebサイトで公開している学習教材について、固定IPアドレス登録により、個人認証なしで簡単に視聴できるサービスを提供するなど学習教材の提供

## ③無料会員(Web 会員)へのサービス提供

- ア. Web会員登録者にはID、パスワードを発行し、霞が関ナレッジスクエアWEBサイトで公開している学習教材の視聴やセミナーの参加申込を可能としました。
- イ. 霞が関ナレッジスクエアからライブ配信する自主プログラムのインターネット参加サービスを提供しました。

## II.霞が関ゼミナールの企画・実施

霞が関ゼミナール(自主プログラムによるセミナー)事業は、スタジオでのセミナーの実施と全国へのライブ配信、セミナー終了後の懇親会の実施、1週間以内のオンデマンドコンテンツのサイト公開から構成されています。

### 1)イノベーションプログラム

#### ①大学改革シリーズ

大学の経営改革、教育改革、業務改革などをテーマに大学改革シリーズを隔月で5回開催。各回のテーマ・講師は参加者アンケートの結果や文部科学省の政策とも連携して企画しました。

第1回イノベーションプログラム 大学教育改革の動向と国公私を通じた支援

2008年6月2日(月)18:00-21:00

第2回イノベーションプログラム 「社会から求められる大学」について

2008年8月4日(月)18:00-21:00

第3回イノベーションプログラム 社会人教育と先端人材育成の現場から

2008年10月15日(水)18:00-21:00

第4回イノベーションプログラム 来年度の大学教育改革

2009年1月16日(金)18:00-21:00

第5回イノベーションプログラム 大学間連携

2009年3月9日(月)18:00-21:00

### 2)エキスパート・スタジオ

#### ① キャリア教育番組「エキスパート・スタジオ」制作・配信

若者の職業選択を支援し、社会人としての生き方を指南するスタジオ参加型キャリア教育番組。入社(職)10年前後で仕事の第一線で活躍中の先輩をゲストに招き、社会に出て役に立った学生時代の経験、今の職業の志望動機とやりがい、目指しているキャリアアップ、将来像など。これらについて本人に語ってもらうとともに、キャリアカウンセラーや司会、参加学生らと

のやり取りによってさらに掘り下げるものです。

2008年度は、イタリアンレストラン オーナーシェフをとりあげた番組を制作し、Web コンテンツとして公開しました。

第5回 エキスパート・スタジオ「イタリアンレストラン オーナーシェフ 森本慎治さん」

実施日:2008年11月6日(木)16:00-18:00

### 3) ビジネスパーソン・コミュニティプログラム

#### ① カルチャーシリーズ

##### [ワイン講座]

ビジネスパーソンとして交流の場で役に立つマナーや知識の習得と出会いを通じた人脈づくりに役立つ講座として、霞が関ナレッジスクエアでの講座とエキスパート倶楽部での試飲・軽食で構成する「ワイン講座」を企画・実施した。毎回参加する参加者も複数名現れるなど、本企画は霞が関ナレッジスクエアを舞台にした異業種交流や霞が関コモンゲートの賑わいづくりにも一役買っています。

第1回 これだけは知っておきたいワインの常識

実施日:2008年7月9日(水) 18:30-21:00

第2回 ビジネスシーンでのワイン ～レストランで大切なお客さまをおもてなし

実施日:2008年9月10日(水) 18:30-21:00

第3回 ワインをもっと気軽に楽しもう～人気のニューワールドワインを使って～

実施日:2008年11月26日(水) 18:30-21:00

##### [マネー講座]

ビジネスパーソン向けに、保険や預金などの貯蓄についての基本的な知識を金融のプロが分かりやすく解説する講座を企画・実施した。折からのアメリカを震源地とする世界金融危機の影響もあり、保険、預金、貯蓄に加え、急落していた株価の評価等にも話が及ぶ熱のこもった講座となりました。

ビジネスパーソン必修 マネー講座 実施日:2008年10月29日(水)18:30-21:30

##### [霞が関寄席「きん歌・わか馬 二人会」]

特定の場所以外で高座を打つ機会の少ない若手の落語家に活動の場を与えるとともに、霞が関地域において落語を楽しむ機会を提供し、霞が関の賑わいづくりに一役買うプログラムとして21年1月より「霞が関寄席シリーズ」を企画・実施した。飲み物付き有料制の事業としたが、毎回、コンスタントに50名程度の参加を得て、霞が関コモンゲートのレギュラー文化行事として定着しつつあります。

新春 霞が関寄席 きん歌・わか馬 二人会 2009年1月20日(火) 19:00-20:30

二月 霞が関寄席 きん歌・わか馬 二人会 2009年2月20日(金) 19:00-20:30

三月 霞が関寄席 きん歌・わか馬 二人会 2009年3月24日(火) 19:00-20:30

### 4) 特別プログラム

平成20年度には以下のプログラムも実施しました。

#### ② グローバル・育成・採用プログラムの実施

日本企業へ就職を希望する米国留学中の日本人学生等に対する企業の採用情報や必要としている人材情報。社会人に必要なしごと力に関する学習情報等について、米国向けにライブ配信するとともに、実施した内容を Web コンテンツとしてライブラリー化しました。これらの事

業は、就職支援事業者、留学生の採用希望事業者との連携・協力により実施しました。  
「第1回 グローバル育成・採用プログラム～グローバル時代を見据えた人財採用戦略とは～」  
実施日:2008年10月17日(金)11:00-14:30

[エキスパート倶楽部 ワインの集い]

ワイン講座の発展系として、毎回ワインづくりを話題にしたトークとワインと料理の組み合わせを楽しむワインの集いを企画・実施しました。

～シャトラーゼ 勝沼ワイナリー戸澤工場長を囲んで～

実施日:2009年1月29日(木)18:30-21:00

[子どものネット脅威セミナー](全国 Web カウンセリング協議会 共催)

保護者、教育関係者、ボランティア等を対象に、犯罪や事件に巻き込まれる怖れのある危険なサイトや携帯メール依存症から子どもを守るための知識やスキルを習得するためのセミナーを関係機関と協力して実施しました。

大人の知らない子供のネット脅威 : 2008年10月21日(火) 15:00-17:30

[霞が関・虎ノ門地域の歴史・文化イベント](文化庁共催)

霞が関ナレッジスクエア開設記念事業として制作したオリジナルハイビジョン映像「江戸 TOKYO 散歩」～広重「名所江戸百景」と東京の今～の完成披露を兼ね、文化庁、千代田区立四番町歴史民俗資料館の協力を得て、第50回文部科学省教育・文化週間関連行事として、広重が描いた江戸時代の虎ノ門界限と今に残る史跡をテーマにした講座を企画・実施しました。

「広重が描いた江戸時代の虎ノ門界限と今に残る史跡」

実施日:2008年11月4日(火)18:30-21:30

### Ⅲ. 霞が関ナレッジスクエアWebサイトの運営

霞が関ナレッジスクエアの事業、活動に関する情報発信は霞が関ナレッジスクエアWebサイトにより行っている。コンテンツの構成は「霞が関ゼミナール」(セミナー・イベント情報)、「レンタルスペース」(スタジオ、イベントスペース、会議室)、「ナレッジスクエアライブラリー」(無料コンテンツ視聴)、ビジネス教材検索(しごと力向上教材ガイド)、web 会員登録の5つ。

#### 1) 霞が関ゼミナール

自主プログラムで実施するイノベーションプログラム、コミュニティプログラム、特別企画などの内容を収録して、セミナー実施後1週間以内に霞が関ゼミナールのオンデマンドコンテンツとしてライブラリー化し、公開しました。

公開コンテンツ数:15(上記、「自主プログラムによるセミナーの企画・実施」参照)

#### 2) 霞が関ナレッジスクエアライブラリーの運営

霞が関ナレッジスクエアWebサイトでは、霞が関ゼミナールのほかに、しごと力向上ライブラリーとエキスパート・スタジオからなる学習コンテンツのデジタル図書館として霞が関ナレッジスクエアライブラリー事業を進めています。

##### ①しごと力向上ライブラリーの公開

しごと力向上ライブラリーは仕事や生活に役立つ学習コンテンツを毎月1教材制作し更新しました。コンテンツを視聴するにはWeb 会員登録(無料)により発行するID、パスワードが必要となりますが、会員機関には個人認証を省略するサービスを行い、図書館・情報センター、キャリアセンター等のパソコンからのアクセスに便宜を図ることとしました。



公開コンテンツ数: 12(オリジナル開発)

2008年4月UP

「知の地域づくりと市民の自立」(1時間2分45秒)

2008年5月UP

「これだけは知っておきたい著作権」その3 著作隣接権と外国の著作物(13分8秒)

2008年6月UP

「これだけは知っておきたい著作権」その4 著作権の正しい使い方 (17分15秒)

2008年7月UP

「知価社会とIT産業」(1時間16分36秒 音声文字テキスト表示付き)

2008年8月UP

「これだけは知っておきたい個人情報保護」①個人情報保護の基本ルール(11分2秒)

2008年9月UP

「これだけは知っておきたい個人情報保護」②個人情報の漏えい防止(8分26秒)

2008年10月UP

「これだけは知っておきたい個人情報保護」③事故防止の心理的対策(10分53秒)

2008年11月UP

「ビジネスパーソン必修 マネー講座～貯蓄・保険・投資～」(1時間21分)

2008年12月UP

「グローバルな世界をどう生き抜くか」①日本におけるグローバル化の状況(12分35秒)

2009年1月UP

「グローバルな世界をどう生き抜くか」②グローバル化の中で生き抜くための力とは  
(13分37秒)

2009年2月UP

「グローバルな世界をどう生き抜くか」③自分にふさわしいキャリアの確立とは  
(11分15秒)

2009年3月UP

「コミュニケーション力向上講座」(14分43秒)

## ②エキスパートスタジオの公開

社会人10年目のしごと力に学ぶ若者向けキャリア教育コンテンツとして平成20年度は「第5回 イタリアンレストラン オーナーシェフ 森本慎治さん」のコンテンツを公開しました。仕事別では「デジタル放送用システム カスタマーエンジニア」「家電製品出張修理サービス カスタマーエンジニア」「マンション事業開発 テレビ受信システム企画営業」「eラーニングシステム開発 Webディレクター」「イタリアンレストラン オーナーシェフ」の5職業のエキスパートの仕事ぶりを紹介し、その仕事に必要な能力をクローズアップしています。

## 3) ビジネス教材検索 しごと力向上教材ガイドの運営

「しごと力向上教材ガイド」は、「ビジネス教材検索」と名称を変更し、教材情報提供機関、AVCC 賛助会 しごと力向上部会の会員等の新着教材をDBに登録する活動を続けています。

情報提供協力機関数:(136機関)

登録教材数:(15,142件)

## 4) コンピテンシーチェックシステムの提供

社会人として働く際に求められるコンピテンシーをFeel=「人間関係力」、Think=「問題解決力」、Act=「実行力」と定義し、学習者が客観的に自らのコンピテンシーを評価し、自分が学習・習得

すべき能力や行動特性を明らかにすることを目的としたセルフチェックシステムをWebで公開しています。早稲田大学eスクール学生40名、教育メディア科学受講生126名に対してサービス致しました。

5)公共ホームページ goodsite 運動の推進 <http://goodsite.gr.jp>

平成20年度も毎月テーマを変えて5 サイトずつ社会に役立つ情報発信サイトを選定して公共ホームページgoodsite 運動のサイトで紹介するとともに、全日本社会教育連合会が発行する月刊誌「社会教育」にて記事掲載を行いました。毎月のテーマは、生涯学習サイトのニューウェーブ、多様化するeラーニングサイト、大学のオープンコースウェア、大学生涯学習系センターWebサイト、イノベーションする図書館、日本でいちばん大切にしたい会社など、その時々ホットなテーマを選定しました。

以下今年度選定したサイトです。(60 サイト)

- No.1 生涯学習サイトのニューウェーブ
  - P 2Pネットワーク実験 公式ホームページ(京都府)
  - エル・ネット(文科省)
  - GWC eラーニング グローバルWebクリエイターへの道(日本女子大学)
  - WEB生涯学習 マナジン
  - 霞が関ナレッジポータル(AVCC)
- No.2 ツールもスタイルもコンテンツも多様化するeラーニングサイト
  - iKnow! beta(セレゴ・ジャパン)
  - はじめての方の手話講座(NECシステムテクノロジー株式会社)
  - 看護教育システムホームページ(シャープシステムプロダクト株式会社)
  - いしかわ健康講座 e-learning(石川県)
  - あすなろラーニングサイト(静岡県総合教育センター)
- No.3 大学のオープンコースウェアサイト探訪1
  - 慶應義塾オープンコースウェア(OCW)
  - 京都大学オープンコースウェア(OCW)
  - 北海道大学オープンコースウェア
  - 九州大学オープンコースウェア
  - 「名大の授業」(名古屋大学オープンコースウェア)
- No.4 大学のオープンコースウェアサイト探訪2
  - TOKYO TECH OCW(東京工業大学)
  - 大阪大学 OpenCourseWare
  - 関西大学 教えと学びのショーケース
  - 京都精華大学オープンコースウェア
  - 女子栄養大学オープンコースウェア
- No.5「大学のオープンコースウェアサイト探訪3」
  - 立命館オープンコースウェアへようこそ
  - 早稲田大学OCW
  - 同志社大学オープンコースウェア
  - 筑波大学オープンコースウェア
  - JOCW
- No.6「大学生涯学習系センターWebサイトの動向1」
  - 熊本大学 社会連携 地域連携 生涯学習
  - 高知大学 国際・地域連携センター 生涯学習部門

- 宮崎大学 教育研究・地域連携センター
- 富山大学 地域連携推進機構・生涯学習情報Webサイト
- 岩手大学地域連携推進センター 生涯学習・知的資産活用部門
- No.7「大学生涯学習系センターWebサイトの動向2」
  - 工学院大学エクステンションセンター
  - TUCL 玉川大学公開講座
  - 東京理科大学生涯学習センター
  - 文京学院大学・文京学院短期大学生涯学習センター
  - 芝浦工業大学 オープンテクノカレッジ
- No.8「イノベーションする図書館-1」
  - 鳥取県立図書館
  - 愛荘町立図書館 愛知川図書館
  - 千代田Web図書館
  - 広島市立図書館
  - 石狩市民図書館
- No.9「イノベーションする図書館-2」
  - 岡山県立図書館
  - 奈良県立図書館情報館
  - 函館市中央図書館
  - 山口県立山口図書館
  - 青森県立図書館
- No.10「日本でいちばん大切にしたい会社・・・より」
  - 日本理化学工業株式会社
  - かんてんぱぱ／伊那食品工業株式会社
  - 中村ブレイス株式会社
  - 株式会社柳月
  - 杉山フルーツ
- No.11「日本でいちばん大切にしたい会社 PART2」
  - 富士メガネ
  - ファンケルスマイル
  - 柏屋
  - キシ・エンジニアリング株式会社
  - 株式会社アールエフ
- No.12「思い出のgoodsite」
  - 兵庫県立人と自然の博物館
  - 日本の花火
  - 微小貝
  - パンダと学ぶ中国語
  - 岡山の民話

6) メールマガジンエキスパート通信の発行

毎週金曜日に霞が関ナレッジスクエアのメールマガジン「エキスパート通信」を発行した。メールマガジンは無料会員の Web 会員も含めて会員全員に発信しており、事務局と会員を結ぶ定期的な連絡ツールの役目を果たしています。

年間発行回数:約 52 回(臨時号含む)

7) 霞が関ナレッジスクエア E-ラーニング「しごと力向上講座 2009 年度版」の開発普及  
これから就業しようとする人、またはビジネスパーソンを対象に、仕事に必要なビジネスマナーやビジネススキルを学べる E-ラーニングサービスを霞が関ナレッジスクエアメンバー向けに提供を開始しました。提供する教材は「しごと力ライブラリー」で公開しているものから選んだ以下の7講座 26単元。各教材には5問の確認テストがあり、受講状況をサーバで管理し定期的にレポートを提出する。大学でのキャリア教育、内定者事前教育、企業内教育での活用が期待される。なお、当 E-ラーニングサービスは CD-ROM(コピーガード加工)で提供しており、低速回線の環境でも受講が可能です。

(講座内容 7講座 27単元)

「個人情報保護の基本」(6単元)

「個人情報保護の基本～実践編～」(7単元)

「ビジネス電話のマナー～電話対応の基本～」(4単元)

「ビジネスメールの基本」(1単元)

「新入社員研修ビジネスマナーの基本」(3単元)

「ヒューマンスキルとしてのマナーを磨く」(5単元)

「会議の達人 効果的・効率的な会議の進め方」(1単元)

#### IV.教材普及・教材活用支援事業

##### 1)教材普及事業

霞が関ナレッジスクエアWebサイトのビジネス教材検索、しごと力教材ライブラリーの活動を通じて、全国の職業能力開発関係者、企業内教育関係者、キャリア教育関係者、個人等に教材の購入斡旋、頒布等、教材普及活動を行ないました。

##### 2) e-ラーニング検討・導入・運用計画のサポート

霞が関ナレッジスクエアの体験教材サービス事業を通じて人材開発・社員教育等の学習コンテンツおよびLMS(ラーニング・マネジメント・システム)からなるeラーニングシステムについて、企業等の検討・導入・運用に至る計画推進をサポートしました。

#### V.施設運用事業

##### 1)会員制公民館研修施設の運用

霞が関ナレッジスクエアの会員(事業協賛会員、法人会員、アカデミック会員)並びに一般に対して、セミナー、会議等にスタジオの貸出を行ないました。

開業時間:平日 8:30～21:30 (土曜日予約制)

年間利用イベント数・参加人数:217 イベント・5,715 人

##### 2)ラウンジの運用

霞が関ナレッジスクエアの会員(事業協賛会員、法人会員、アカデミック会員、個人会員)にラウンジの常設パソコン席の貸出を行ないました。

開業時間:平日 8:30～21:30

年間利用者数:2,233 人 [うちパソコン利用人数 635 人]

##### 3)エキスパート倶楽部の運用

霞が関コモンゲートアネックス1階のエキスパート倶楽部はスタジオで行う事業のサテライト会場として一体運用するほか、一般や会員を対象とした常設パソコン席の貸出や持ち込みパソコンへの

無線LANサービスの実施。飲食サービス、懇親会などの貸切利用への対応を行ないました。  
開業時間 平日 11:00～22:00(土日祝日については予約制貸切のみ対応)  
年間利用者数:18,756人 [うちPC利用人数 432人]

## (2) 研究会、コンソーシアム等への協力

日本オープンコースウェア・コンソーシアム(略称:JOCW)の活動をはじめ、我が国の教育情報の公開・発信活動等に積極的に連携・協力を行いました。

## 教育企画事業

### (1) 映像企画事業

#### ① 火災原因調査 実践・実務講座DVD制作(財団法人消防科学総合センター)

「消防の責務と実践 ～ただ今、出動中！～」 「火災調査の取組みと応用 その2」

昨年に引き続き、火災原因調査 実践・実務講座DVD制作をしました。

「消防の責務と実践～ただ今、出動中！～」では、

ある倉庫会社の消防設備からの火災を取り上げ、消防職員が火元の会社や消防設備メーカーへの対応を、昨年と同様に広田主査と宇野主任のコンビによるドラマ形式で、火災調査の様々な状況に対応しながら原因究明に至るまで、消防の責務を紹介しました。

「火災調査の取組みと応用 その2」では、

ガスコンロの火災事例をもとに再現実験を行い、原因究明のため器具の構造・特性を理解して頂くため、ガスコンロの分解を行い基本的な調査のポイントを紹介しました。

また、IHクッキングヒーターからの出火についても実験で紹介しました。

#### ② 「火災事例に学ぶ」DVD制作(防火管理者講習用教材)

(財団法人日本防火・危機管理促進協会)

防火管理の目的は、火災などの災害の発生を未然に防ぎ、万が一災害が発生した場合には、被害を最小限に止めることにあります。過去の複合用途防火対象物(雑居ビル)等の火災事例をもとに、1)火災の概要 2)火災建物状況等 3)火災時の状況等 4)問題点等 の4項目により、「4つの火災事例」を紹介しました。

火災被害の拡大には、防火管理上問題点が多いことが起因していることから、防火管理者は自らの役割を認識し、適正な防火管理業務を行うことを理解して頂くために制作したものです。

#### ③ 「基本手当を受給されるみなさんへ」スペイン語・ポルトガル語版DVD制作

(厚生労働省職業安定局雇用保険課)

平成15年に雇用保険受給資格者に対する雇用保険制度および受給手続の理解の促進を図るため「基本手当を受給されるみなさんへ」の日本語版DVDを制作したものを、今回は、外国人向けで、内容は同じもので「スペイン語版」と「ポルトガル語版」を制作し、全国のハローワーク等で活用されています。

## (2) 自学自習教材の開発とeラーニングの支援

### ① 平成20年度 社会教育情報番組「社研の窓」制作委託業務

国立教育政策研究所 社会教育実践研究センターが配信する平成20年度「社研の窓」の制作

業務を委託しました。この番組は、全国の特徴ある社会教育実践事例を紹介し、社会教育の振興や事業計画の立案に役立てていただくことを目的としています。平成20年度は以下の6本を制作しました。各番組は約20分程度で、社会教育実践研究センターのWebサイトで公開されています。

第1回 家庭教育支援事業

北海道教育委員会「家庭教育サポート企業等制度」の取組

第2回 学校支援ボランティア

松山市久米公民館「久米地区学社連携協力推進協議会」の取組

第3回 図書館と社会教育

栃木県小山市立中央図書館「地域や社会の課題に対応した図書館サービス」の取組

第4回 社会教育を推進するコーディネーター

新潟県新潟市教育委員会「地域と学校パートナーシップ事業」教育コーディネーターの取組

第5回 新たな公民館運営

沖縄県那覇市繁多川公民館・NPO法人 なはまちづくりネット 行政とNPO等の協働による公民館の運営

第6回 学んだ成果を生かした社会参加活動

福岡県新社会推進部社会活動推進課生涯学習室

福岡県遠賀郡水巻町教育委員会「ふくおか高齢者はつらつ活動拠点事業」

②社会教育主事講習オンデマンドコンテンツ プロトタイプ版制作

国立教育政策研究所 社会教育実践研究センターより委託され、社会教育主事講習のオンデマンドコンテンツのプロトタイプを制作しました。スライドと講師動画が連動したタイプのオンデマンドコンテンツです。

「新しい時代における教育計画・評価の在り方」(約20分)

(3)「霞が関ナレッジスクエア」開設記念事業 オリジナルハイビジョン映像制作

「江戸 TOKYO 散歩」～広重「名所江戸百景」と東京の今～

霞が関ナレッジスクエア開設記念事業として制作した「江戸 TOKYO 散歩」は、江戸末期の版画家歌川広重の「名所江戸百景」から、冬、春、夏、秋をテーマに12作品を取り上げ、150年前の江戸の風景と現在の東京の風景を対比したハイビジョン映像です。

Webサイト「霞が関ナレッジスクエア」において、Web会員向けに12作品の公開を開始しました。

「江戸 TOKYO 散歩」～広重「名所江戸百景」と東京の今～

「冬」・・・虎ノ門外阿ふひ坂／浅草金華山／湯し満天神坂上眺望

「春」・・・飛鳥山北乃眺望／山下町日比谷外さくら田／する賀てふ

「夏」・・・大はし阿たけの夕立／堀切の花菖蒲／はねたのわたし

「秋」・・・両国花火／京橋竹がし／四ツ谷内藤新宿

## コンサルティング(業務支援)事業

### (1) 地方自治体情報化推進支援業務

- ①上野原市情報通信基盤整備事業実施設計及び監理業務（山梨県上野原市）  
昨年度に引き続き、平成 18 年度に実施設計した FTTH の基盤整備事業の監理業務に加え、今年度新たに第 3 工区の実実施設計業務及び監理業務を行いました。このネットワークでは、ケーブルテレビや高速インターネット接続サービス・IP 電話サービス・緊急告知放送サービス・ホームセキュリティサービスなど多目的に利活用し、住民サービスの向上や地域の発展、情報格差の是正などを実現しました。
- ②都議会本会議場・委員会室放送設備等の借入れ移行支援業務委託（東京都総務局）  
昨年度実施設計を行った、東京都議会議事堂の本会議場及び委員会室の放送設備・映像設備について、設備切り替えを円滑に進めるための移行支援業務を行いました。
- ③東京都本庁舎記者会見室放送設備等改修実施設計（東京都総務局）  
東京都第一本庁舎の、東京都記者会見場、記者クラブ、報道課の放送設備・映像設備の改修工事について、現地調査、音響設計及び設備の詳細検討を行い、設計図書を作成しました。
- ④小笠原村地上波デジタル放送受信設備整備実施設計（東京都総務局）  
東京都小笠原村父島・母島それぞれにおいて、国が進める衛星セーフティネットによる地上波デジタル放送を受信し、小笠原村FTTH網にて配信するための設備について、現地調査及び設備設計を行い、設計図書を作成しました。
- ⑤業務システム調査・分析・検討業務委託(山梨県甲州市)  
甲州市の次期業務系システム導入検討にあたり、現状の基幹業務系システムに関して調査を実施しました。その結果から、運用状況の課題、再構築コスト等に関する分析を行い、次期システム導入に際しての調査結果報告書を作成しました。
- ⑥コンビニエンスストアにおける収納等導入における調査、分析業務委託(山梨県笛吹市)  
笛吹市において、コンビニエンスストアにおける収納等の妥当性検討及び分析を行い、費用対効果の面も考慮した報告書を作成しました。
- ⑦コンビニエンスストアにおける収納等システム運用に係る監理業務委託(山梨県甲州市)  
昨年度、甲州市において導入した「コンビニエンスストアにおける収納」に係るシステム運用に関して、監理業務を行いました。また、インターネット競売やカードシステム導入等に関する研修を実施しました。
- ⑧単独出先機関の情報ハイウェイ接続に係る設計・監理業務委託(山梨県)  
県の単独出先施設から山梨県情報ハイウェイの光ファイバーケーブルを利用して、最寄りの合庁等に接続するための設計・監理業務を行いました。
- ⑨ネットワークシステム更新計画作成及びサーバシステム設計監理業務委託(山梨県市川三郷町)  
市川三郷町のネットワーク機器・サーバ機器等において、現状調査及び課題分析を実施し、今後の更新計画を作成しました。サーバ機器等については、作成した更新計画を基に、今年度入替が必要なハードウェアを選定し、新しいサーバシステムを再構築する為の設計業務を行いました。

- ⑩甲州市本庁舎移転改修に伴う電算システム設計業務委託(山梨県甲州市)  
甲州市の本庁舎は、老朽化に伴い平成21～22年度にかけて、移転を予定しています。本業務は移転先の新庁舎におけるネットワーク及びシステム環境の調査・検討を実施し、ネットワーク及び電算システムの設計を行いました。
- ⑪身延町CATV整備運営事業アドバイザー業務支援(山梨県身延町)  
昨年に引き続き、身延町CATV施設の整備運営に関してPFI手法を用いるための技術的コンサルティング支援を行いました。
- ⑫湯川橋南側管路敷設工事設計・監理業務委託(山梨県身延町)  
新湯川橋付近の市川三郷身延線が新しい道路となることから、新湯川橋に既に敷設してある配管と接続するための管路を新規敷設します。本業務は、その新規敷設する管路の設計、占用申請及び管路敷設工事の施工監理を行いました。
- ⑬増穂町・鰍沢町情報システム等統合調査・設計業務(増穂町・鰍沢町合併協議会)  
増穂町・鰍沢町の合併に向けて必要となる情報システムの現状調査及び分析を行い、合併後の新町における適切な情報システムの導入及び統合化に関する基本計画の作成、実施設計書等の作成を行いました。

## (2) 防災行政無線システムコンサルティング業務

- ①中野区デジタル防災無線等整備基本計画及び同実施計画策定業務(東京都中野区)  
中野区の防災行政無線システム等の現状調査を行い、同報系防災行政無線及び移動系防災無線のデジタル化並びに防災情報処理システムの方向性を示した基本計画から実現に向けた実施計画を策定しました。本計画では、デジタル化による複合的な情報処理・分析能力の向上を図り、災害時における迅速かつ的確な区民への情報伝達を可能とする統合デジタルシステムとして最先端の防災計画としました。
- ②塩尻市防災行政無線施設整備事業調査設計業務委託(長野県塩尻市)  
平成20年度に基本計画、平成21年度に実施設計を行うこととし、基本計画では、塩尻市内全域を同報系、移動系防災行政無線によりカバーできる、デジタル化へ向けた今後の再構築についてまとめました。
- ③安曇野市デジタル移動系防災行政無線実施設計業務(長野県安曇野市)  
安曇野市が計画する防災行政無線(260MHz、デジタル移動無線)設備整備に伴う現地調査、設置計画書、機器システム提案、設計積算等書類作成を行いました。

## (3) 教育・文化施設や企業等の施設におけるコンサルティング業務

- ①横浜美術館情報システム改修設計及び施工監理業務(横浜市芸術文化振興財団)  
横浜美術館内の既設情報システム改修のための設計及び施工監理を行っていました。古くなった館内システムの統廃合、ダウンサイジングを行い、年間保守料等の経費削減をおこなっています。また、同設計内で横浜美術館ホームページの改修を行い、Movable Type等の最新技術を使用した、職員によるCMS(コンテンツマネージメントシステム)を実現しています。



②松本歯科大学本館AVシステム導入に関するコンサルティングと設備の設計および構築  
(学校法人松本歯科大学、大成建設株式会社)

コンサルティングは主に学校法人松本歯科大学のIT推進室、業務課に対し下記のシステムの仕様決定支援を行い。システム仕様に基づいたシステム設計支援と構築支援を大成建設株式会社に対して行いました。

- ・本館北棟3階臨床実習室HD映像デジタル配信システム
- ・本館北棟2階セミナー室モニターシステム

③日本アムウェイ本社ビルマルチメディアシステム等リニューアル(日本アムウェイ株式会社)

平成8年に竣工した日本アムウェイ本社ビルのマルチメディアシステム等のリニューアルに関してコンサルティングを行いました。特に、マルチビジョンシステムなど映像システムに係るリニューアルの方法について検討を行いました。

④松戸市文化ホール映像表示装置および映像視聴端末に係る設計、構築

(松戸市教育委員会、松戸市文化振興財団)

松戸駅近くにある松戸市文化ホールは、市民の芸術文化活動の発表の場として設置された施設です。この施設に新たに映像表示装置および映像視聴端末等を設置し、映像を利用した発表・研修の場を提供するものです。また、霞が関ナレッジスクエアとはネットワークでつながっており、霞が関ナレッジスクエアに蓄積されているコンテンツの視聴やセミナーのライブ配信の視聴ができるようになっています。

#### (4) 情報セキュリティコンサルティング業務

①東京都水道局情報セキュリティ監査実施委託(東京都水道局)

東京都水道局情報セキュリティポリシーに基づき、各情報処理システムが実施している情報資産に管理、システム保守運用等の情報セキュリティ対策について、第三者による独立かつ専門的な立場から、ポリシー等に準拠して適切に実施されているか否かを点検・評価し、問題点の確認、改善方法について検討、助言、指導を行いました。

②東京都財務会計システム及び住民税納付事務システムに対する情報セキュリティ監査実施委託(東京都会計管理局)

東京都財務会計システム及び住民税納付事務システムについて、独立かつ専門的な立場から、基準等に準拠して適切に情報セキュリティ対策が実施されているか否かを点検・評価しました。また、サーバ類のペネトレーションチェックも実施し、当該システムの安全性を評価及び改善方法等について検討、助言、指導を行いました。

③電算システム運用監理及びセキュリティ研修業務委託(山梨県甲州市)

甲州市の電算システム運用に関する監理業務を行いました。また、職員向けの研修会を開催し、セキュリティポリシーの周知及び電算システム運用に関するセキュリティ面の向上を図りました。

#### (5) 情報システム等保守運用支援業務

①日本学術振興会情報システム開発業務(独立行政法人日本学術振興会)

日本学術振興会では、各課単位で国内外の研究者並びに研究機関への補助金等の管理を行っている。その管理サーバ類の各種ソフトウェア開発及びデータベース改修等を支援しています。

- ②松本歯科大学およびCampus Inn情報設備保守点検整備業務  
(学校法人松本歯科大学、スコラサービス株式会社)  
松本歯科大学学内及びCampus Inn の各教室、各会議室、ラウンジ、のAV及び情報設備の定期点検及び日常保守を行いました。
- ③松戸市文化会館 電子情報配信システムメンテナンス(財団法人松戸市文化振興財団)  
松戸市役所、JR松戸駅、松戸市文化会館に設置されている電子情報配信システムの定期点検、保守を行いました。
- ④松戸市文化会館 ホール収録システムメンテナンス(財団法人松戸市文化振興財団)  
松戸市文化会館森のホール21の大・小ホール、レセプションホールのビデオ収録システム定期点検、保守を行いました。
- ⑤昭和女子大学 AVシステムメンテナンス(学校法人昭和女子大学)  
大学一号館、研究館、オーロラホール等のAVシステムの定期点検、保守を行いました。
- ⑥愛知大学 PC情報機器メンテナンス(学校法人愛知大学)  
愛知大学東京事務所のPC情報機器について保守を行いました。

#### (6) プライバシーマーク認定審査支援業務

(財)日本情報処理開発協会(JIPDEC)が普及に務めている個人情報保護に関する第三者認定制度である「プライバシーマーク認定制度」の審査認定業務を支援するため、当財団より(財)日本情報処理開発協会(JIPDEC)及び(財)放送セキュリティセンター(SARC)に対し、主任審査員2名を派遣し、審査活動を致しました。

また、昨年度に引き続き、(財)日本情報処理開発協会(JIPDEC)より、審査認定業務を一括に受注し、当財団にて27事業者に対し、調整業務、書類審査、現地審査及び是正確認業務までの一連の業務を受託致しました。

## 国際協力事業

### (1) 遠隔技術協力(JICA-Net)システムのコア運用 (独立行政法人国際協力機構)

国際協力機構(JICA)が運用する JICA-Net システムの機能及び可能性を最大限に活用し、より効果的な遠隔技術協力を実現するため、日本側のコアとなる拠点に要員を配置し、番組配信など JICA-Net に係る一連の教育・TV会議システムの運用業務を行ないました。

番組形態は以下の通り。

- ①遠隔講義・セミナー
- ②テレビ会議
- ③外部施設利用テレビ会議
- ④その他

以上